

第 66 回日本消化器内視鏡学会東海地方会

共催セミナー プログラム

ランチョンセミナー1 (共催：株式会社スリー・ディー・マトリックス)

11：40～12：30 第2会場 (902 会議室)

司会：川嶋啓揮 (名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学)

『胆膵領域におけるピュアスタットの可能性』

演者：山田玲子 (三重大学医学部附属病院 消化器・肝臓内科)

『胆膵領域における吸収性局所止血材「ピュアスタット」の臨床的意義』

演者：糸井隆夫 (東京医科大学病院 消化器内科)

ランチョンセミナー2 (共催：富士製薬工業株式会社)

11：40～12：30 第3会場 (1001 会議室)

司会：清水雅仁 (岐阜大学医学部附属病院 第一内科 (消化器内科・血液感染症内科))

『大腸早期がんに対する JNET 診断と治療の Update-West vs. East-』

演者：斎藤 豊 (国立がん研究センター中央病院 内視鏡科)

『大腸内視鏡前処置におけるサルプレップの役割～当院での使用経験を中心に～』

演者：山田啓策 (愛知県がんセンター 内視鏡部)

特別発言：丹羽康正 (愛知県がんセンター 総長)

アフタヌーンセミナー (共催：武田薬品工業株式会社)

12：45～13：35 第3会場 (1001 会議室)

司会：杉本 健 (浜松医科大学 第一内科)

『炎症性腸疾患の内視鏡診断と治療の基本』

演者：荒木寛司 (社会医療法人蘇西厚生会松波総合病院 消化器内科)

スポンサーセミナー1（共催：アヅヴィ合同会社）

10：40～11：30 第2会場（902会議室）

司会：中村正直（名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部）

『クローン病の治療戦略』

演者：山村健史（名古屋大学医学部附属病院 消化器内科）

『潰瘍性大腸炎におけるウパダシチニブの有用性について』

演者：尾関 啓司（名古屋市立大学 消化器・代謝内科学）

スポンサーセミナー2（共催：富士フイルムメディカル株式会社）

10：40～11：30 第3会場（1001会議室）

司会：春日井邦夫（愛知医科大学病院 消化管内科）

『ESDの現況と展望～新たな処置用スコープの可能性も含めて～』

演者：豊永高史（神戸大学医学部附属病院 光学医療診療部）

特別発言：八木信明（朝日大学病院 消化器内科）

スポンサーセミナー3（共催：オリンパスマーケティング株式会社）

13：50～14：40 第2会場（902会議室）

司会/特別発言：廣岡芳樹（藤田医科大学 消化器内科学）

『Interventional EUSの現状と課題 – 新型超音波観測装置の有用性 –』

演者：井上匡央（愛知医科大学 肝胆膵内科）

『Interventional EUSの現状と課題 – 直視型コンバックスコープの有用性 –』

演者：桑原崇通（愛知県がんセンター 消化器内科部）

スポンサーセミナー4（共催：MSD株式会社）

13：50～14：40 第3会場（1001会議室）

司会：片岡洋望（名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学）

『消化器癌における免疫チェックポイント阻害薬のいろ・は』

演者：谷口浩也（愛知県がんセンター 薬物療法部）